

大阪労山「山の教室」

今年度は徐々に事務所で対面での講座を復活させていきます。また可能なものはリモートも併用していきます。事務所だけの座学、リモートのみ、事務所とリモート併用、実技の4種類になりますのでご注意ください。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。

kyouikusoutai@osaka-rousan.com

◆今年度日程

日程	科目	種別	主講師	主担当	受講料	定員
4月12日 (水)	春山の気象	リモート	河野仁	高田和孝	¥500	—
4月18日 (火)	ハイキングレスキュー 入門編	座学	日高博	木村治朗	¥500	15
4月23日 (日)	ハイキングレスキュー 入門編	実技	日高博	木村治朗	¥1,000	15
4月25日 (火)	パーティー論リーダー論 入門編	リモート併用	中川和道	三宅康文	¥500	—
5月9日 (火)	ハイキングレスキュー リーダー編	座学	日高博	木村治朗	¥1,000	10
5月14日 (日)	ハイキングレスキュー リーダー編	実技	日高博	木村治朗	¥1,000	10
5月20日 (土)	地形図の読み方 入門編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
5月21日 (日)	地形図の読み方 入門編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
6月13日 (火)	遭難事例研究(無雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
6月14日 (水)	応急手当 入門編	座学	柳川憲一	木村治朗	¥500	20
6月20日 (火)	夏山の気象	座学	山本賢治	高田和孝	¥500	20
7月11日 (火)	遭難事例研究(無雪期) 応用編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
8月30日 (水)	アルパ・イクラミツののための制動確保 入門編	座学	中川和道	木村治朗	¥500	12
9月10日 (日)	アルパ・イクラミツののための制動確保 入門編	実技	中川和道	木村治朗	¥1,000	12
10月3日 (火)	パーティー論リーダー論 応用編	リモート併用	中川和道	三宅康文	¥500	—
11月11日 (土)	地形図の読み方 スキルアップ編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月12日 (日)	地形図の読み方 スキルアップ編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月14日 (火)	遭難事例研究(積雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
12月12日 (火)	遭難事例研究(積雪期) 応用編	リモート併用	中川和道	疋田吉継	¥500	—
12月19日 (火)	冬山の気象	リモート併用	高田和孝	山本賢治	¥500	—
1月16日 (火)	山の病予防	座学	中川和道	木村治朗	¥500	15

◆10月・11月の講座

➤ パーティー論リーダー論 入門編2 座学

日時：10/3 (火) 19:30~21:00

場所：連盟事務所 Zoom 併用

費用：500円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S58182578/>



第2部では、登山と法律の関係、とくに責任問題について紹介していきます。「引率登山では責任は大きい、自主登山では安全確保責任を問われた実例はない」と言われています（文献1）。では、山岳会での事故とか、公開山行や登山学校での事故の場合にはどうなのでしょう？講師の体験をまじえながら、事故と責任について考えて行きます。初めての方は何の予習もなくご参加いただいてOKです。会や連盟の執行部の方は、ぜひ以下の文献を読んでみてくださいと有難いです。文献1～3が手に入らない方はご相談下さい。

[文献1]「大阪労山ニュース」2016年10月号 中川和道「大阪府連における登山者養成：大阪の新たな挑戦 2016 その1」

[文献2]「登山時報」2013年1月号，大阪労山ニュース2013年1月号2月号3月号「溝手氏講演会『登山と法律』の記録」

[文献3]中川和道『その救助、法的に無効』大阪労山ニュース2020年1月号 p25

[文献4]溝手康史「登山の法律学」東京新聞出版局、2007年。

[文献5]溝手康史「登山者ための法律入門」ヤマケイ新書、2018年。

➤ 地形図の読み方（スキルアップ編）

日時：11/11（土）13:00～17:00（座学） 11/12（日）9:00～15:00（実技）

場所：11/11（座学）連盟事務所 11/12（日）近郊の里山

費用：各講座1,000円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S31296011/>（10月から）

※座学と実技をセットで受講ください。〔片方だけの受講はできません〕



入門編を受講後、さらに読図のスキルアップを目指している方向けの講座です。道標が無くても、踏み跡が消えていても、自分の現在位置を把握しながら正確にルート維持できるようになることが目標です。今はGPSを利用してスマホでも登山中の現在位置が分かるアプリがありますが、地形図を読む力は予期せぬ事態に対処する上でも必須です。この講座では、周りの状況も判断しながらルートを考え、地形図とコンパスを使ってルートを維持する力を磨きます。座学は、土曜日の午後、途中休憩をはさみながら4時間ほどの予定です。次のような内容の学習を考えています。

- ・自分がいる現在地を判断するための方法を、いろいろなパターンの場合で考える。
- ・目的地までのルートを、周りの状況も把握しながら地形図上で考える。
- ・ルートを間違いやすい（道迷いしやすい）地点を、地形図上で読み取る。

◇申込みの一応の締め切り 10月26日（木）……下記の通り、座学の予習課題があるため。

*座学では、事前にいくつかの課題について予習をしていただきます。座学当日の学習がより深まるようにするためです。予習ですと分からないところがあっても、何も気にする必要はありません。課題はメール添付または郵便でお送りします。

*このスキルアップ編を受講できるのは、入門編（2016～2018年の単発講習会、2019年以降の「山の教室」の読図入門編を含む）の座学・実技を受講された方、または、同レベルの読図力をお持ちの方です。

*入門編を受講された方を優先しますので、入門編を受講されていない方については、申し込んでいただいても仮受理となります。人数が定員を超える場合には、申し訳ありませんが受講できないことをご了解ください。

➤ **遭難事例研究（積雪期入門編）座学**

日時：11/14（火）19:30～21:00

場所：リモート講座（Zoom 利用）

費用：500 円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S17646126/>（10 月から）



他人の山岳遭難を自分の教訓にして、登山の安全性を飛躍的に向上させていきましょう。OWAF の仲間の事故や、他の山岳会の遭難の分析法と教訓の抽出の例をいくつか紹介します。当日はツリー分析という分析手法を紹介します(下図参照)。初めての方は、どんなものか、お気軽に、ぜひ見に来て下さい。

事務所では、ツエルトをかぶって猛吹雪から生還する実技演習を行いますので、ご期待してご参加下さい。

文献 1、2 を事前に読んでおくと講座が聞きやすいです。このツリー解析を会得できたら、次は実用コースにご参加下さい。

[文献 1] 労山大阪、事故事例集『事故防止は仲間の知恵で』2021 年発行。

2014-1（100P） 「場面の切り替えに失敗 アイゼンはずしたら転倒」

2013-1, 2（101P） 「ミトンが飛んだ 手に凍傷」 実習

2019-1（102P） 「目出し帽で 顔に凍傷」 実習

[文献 2] 「春の爆弾低気圧」から「みろく山の会」の事故。羽根田治『山岳遭難の教訓』ヤマケイ新書 2015 年 に収録